

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 地震・豪雨からの復旧・復興について</p> <p>(1) 地震等が起こった際の初動対応について、家族で話し合うことを促してはどうか。</p> <p>(2) 精育園の復旧について</p> <p>ア 一人部屋や介助しやすいトイレなど、現代の福祉施設に適した再建が求められるが、修築の構想を聞く。</p> <p>イ 大まかなスケジュールを利用者や家族に示してはどうか。</p> <p>(3) 能登島の復旧・復興について</p> <p>ア 能登島の生命線である県道田尻祖母浦半浦線の復旧スケジュールを聞く。</p> <p>イ のとじま水族館の復旧にあたり、耳目を集め、かつ整備費のかからない施設を目指してはどうか、復旧スケジュールと併せて聞く。</p> <p>ウ ツインブリッジのとの復旧スケジュールを県民に示し、復興への機運を高めるべきではないか。</p> <p>(4) 中能登地区のため池について、来春までに修築を完了できるか目途を聞く。</p> <p>(5) 原子力防災について</p> <p>ア 原子力発電所からの避難経路上にある県管理道路の復旧方針を聞く。</p> <p>イ 先般実施された県原子力防災訓練に、原子力発電所から30キロ圏内にある市町の防災士は参加していたのか。</p> <p>ウ 防災士には、どのように原子力災害に関与してほしいと考えているのか。</p> <p>エ 今回の訓練では、放射性物質が北方向に拡散・沈着したとの想定だったが、異なる想定での訓練は考えているのか。</p> <p>オ 海岸線の隆起や港湾設備の損傷を想定した、ホバークラフトを接岸しての避難も考慮すべきと考えるがどうか。</p> <p>(6) 林業について</p> <p>ア あすなる塾の出前講座について、能登・加賀各地区の今年度の参加者数を聞く。</p> <p>イ 林業への新規就業や離職防止のため、しっかりとした労働安全対策が必要と考えるが、見解を聞く。</p>	<p>知 事 危 機 管 理 監 復 旧 ・ 復 興 推 進 部 長 健 康 福 祉 部 長 生 活 環 境 部 長 農 林 水 産 部 長 土 木 部 長 教 育 長 県 民 ふ れ あ い 公 社 理 事 長</p>

この質疑要旨は、12月9日午後6時5分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>(7) 塚田川、町野川、珠洲大谷川などの応急復旧工事について、国による権限代行工事の終了時期を聞く。</p> <p>(8) 分散型上下水道システム実用化に向けた検討に際し、集落での自立型電力も併せたシステムを提案し、孤立の恐れのある集落の住民が安心安全に暮らせるモデルケースとしてはどうか。</p> <p>(9) 地域コミュニティ施設等再建支援事業の要綱に「政教分離の原則に抵触する利用は除く」とあるのはどのような意図か。</p> <p>(10) 七尾特別支援学校や同輪島分校、同珠洲分校、門前高校、飯田高校等では地盤が動いていると聞くが、現在地は適切な立地なのか、もしくは移設するのか、見解を聞く。</p> <p>(11) 地区防災マップ表示看板の現在の整備状況と今後の整備方針を聞く。</p> <p>(12) トキの放鳥について、餌場でのモニタリング体制の整備など、放鳥に向けたロードマップについて聞く。</p> <p>(13) 復旧・復興ボランティアについて                      ア 石川ファンとなり継続的にボランティアに参加してもらうよう、どのような取り組みを検討しているのか。                      イ ボランティアを育成する必要性や決意を聞く。                      ウ 猫の譲渡についての、いしかわ動物愛護センターとボランティア団体との連携に係る方針と具体的な手立てを聞く。</p>	
<p>2 高齢者福祉施設について                      各施設の経営改善のためには業務の効率化が重要だが、県はどのような取り組みを行っているのか。</p>	<p>知 事 健康福祉部長</p>
<p>3 教育について</p> <p>(1) 教職員の業務上の負担が大きいため、勤務間インターバルを確保するための対応と、ホテル代高騰による旅費の自己負担増への見解について聞く。</p> <p>(2) 国の動きを待たずに教職員の業務を削減することにより、離職者の減や志望者の増につながると考えるが、見解を聞く。</p> <p>(3) 全国学力・学習状況調査から離脱する等により、教員が子どもと向き合う時間を確保できないか、見解を聞く。</p>	<p>教 育 長</p>

この質疑要旨は、12月9日午後6時5分に取りまとめたものです。